

幸区区民アンケート調査 概要版

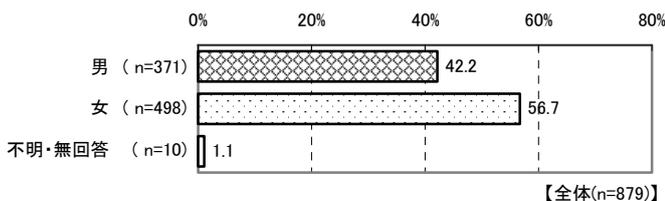
調査の概要

調査設計	<ul style="list-style-type: none"> ●調査対象 幸区在住の満20歳以上の男女個人(外国人を含む) ●標本数 2000 標本 ●標本抽出 住民基本台帳及び外国人登録原票(平成24年5月10日現在)に基づく層化二段無作為抽出 ●調査方法 郵送配布一郵送回収法 ●調査期間 平成24年6月6日～6月30日 ●有効回収数 879 標本 ●有効回収率 44.0%
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">①幸区への愛着や住みやすさについて <li style="width: 50%;">⑧幸区の子育て支援について <li style="width: 50%;">②行政の情報について <li style="width: 50%;">⑨防災について <li style="width: 50%;">③区政への評価と要望について <li style="width: 50%;">⑩自転車マナーについて <li style="width: 50%;">④幸区区民会議について <li style="width: 50%;">⑪エコ・節電・ゴミの分別について <li style="width: 50%;">⑤地域活動や課題について <li style="width: 50%;">⑫夢見ヶ崎公園について <li style="width: 50%;">⑥町内会・自治会について <li style="width: 50%;">⑬生涯学習について <li style="width: 50%;">⑦高齢者支援について

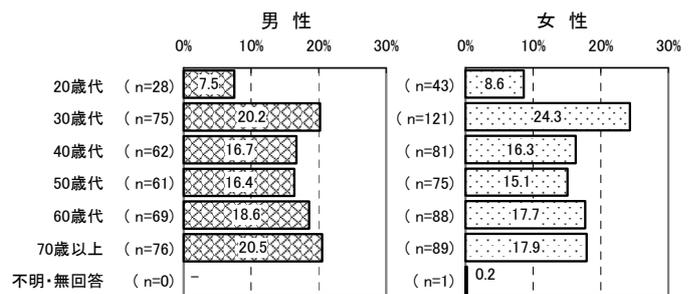
※ 図中における基数となるべき実数 (n) は回答者数を示している。また、本文中の「構成比 (%)」は小数点以下第2位を四捨五入していること、並びに複数回答によるものも含まれていることから、構成比の合計が100%に満たない、あるいは上回る場合がある。

調査回答者の属性

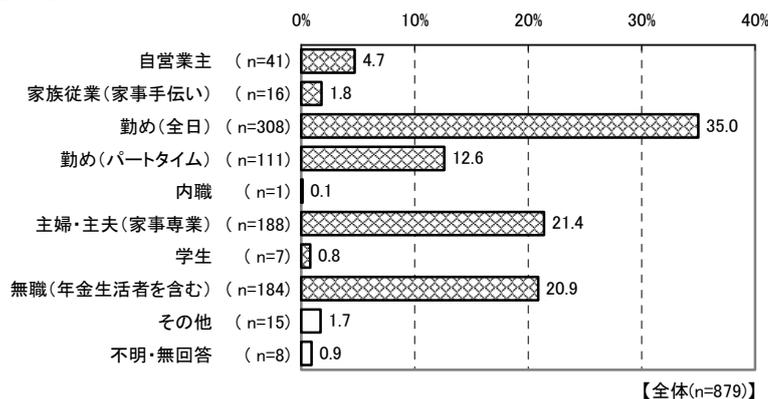
【F1】性別



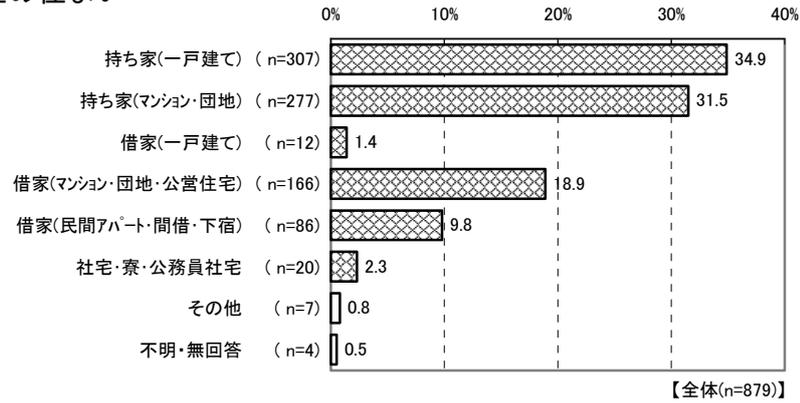
【F2】年代別 (性別)



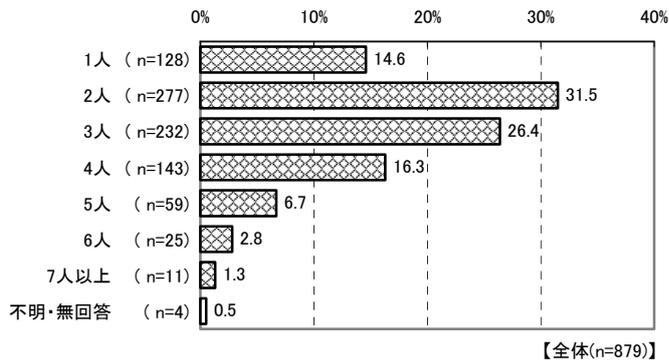
【F3】職業



【F4】現在の住まい

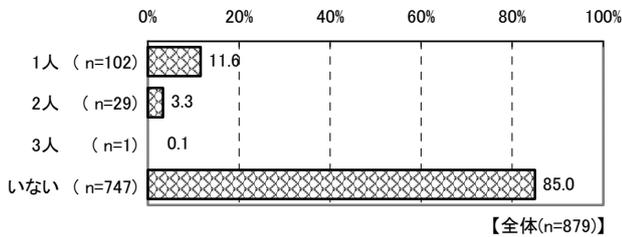


【F5】同居家族

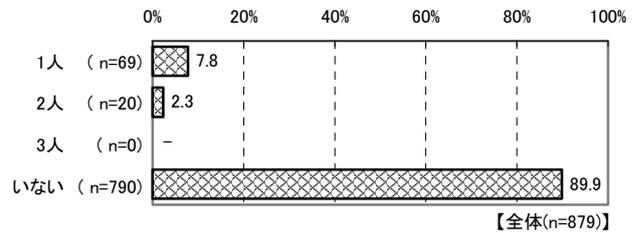


※ 同居家族「1人」は単身世帯を示す

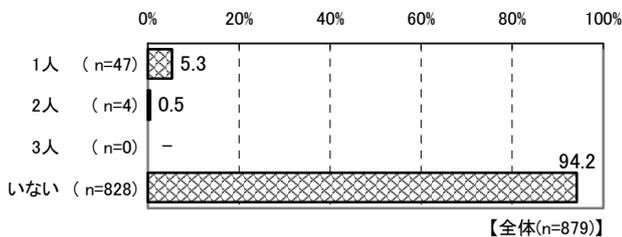
【F6-1】未就学児の家族



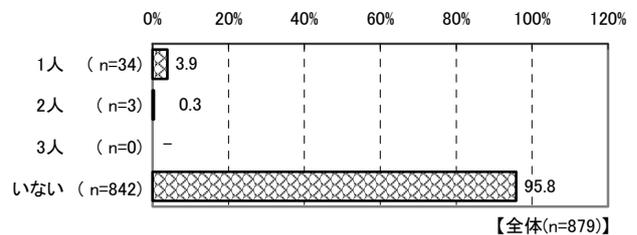
【F6-2】小学生の家族



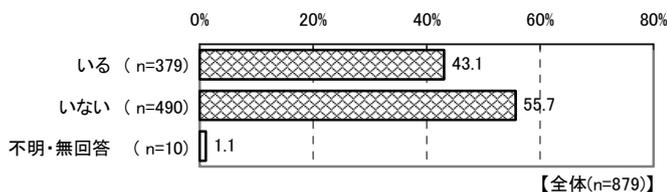
【F6-3】中学生の家族



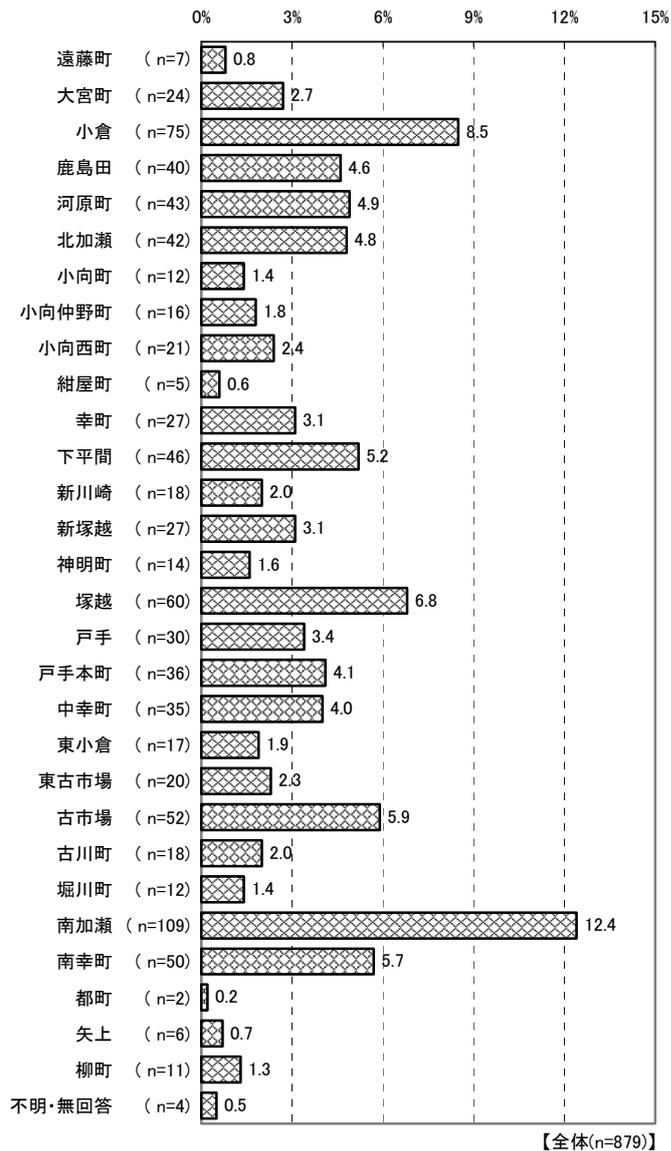
【F6-4】高校生の家族



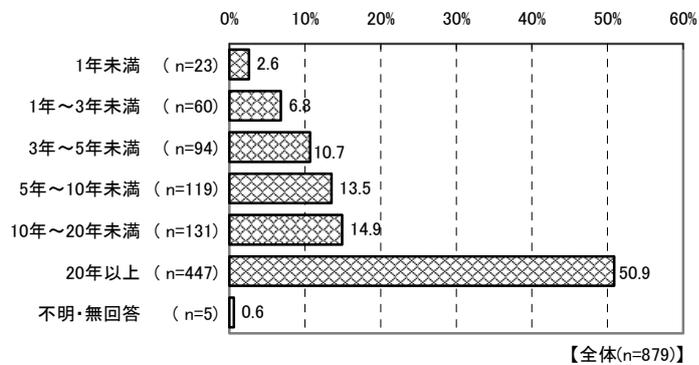
【F7】65歳以上の家族



【F8】居住地区



【F9】居住年数



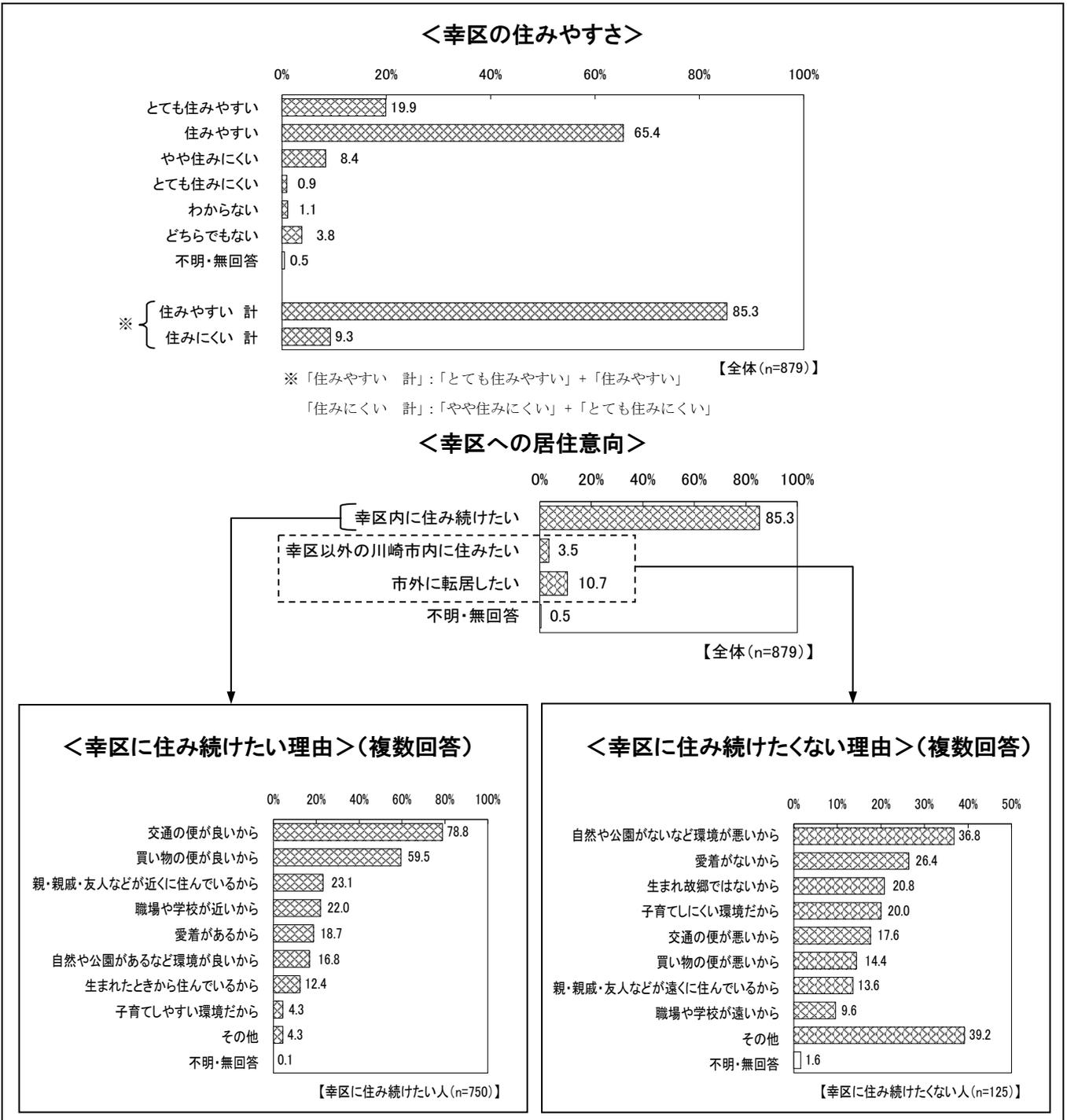
1. 幸区への愛着や住みやすさなどについて

幸区の住みやすさについては、「住みやすい」が65.4%で最も高く、これに「とても住みやすい」(19.9%)を合わせた「住みやすい 計」は85.3%となっている。

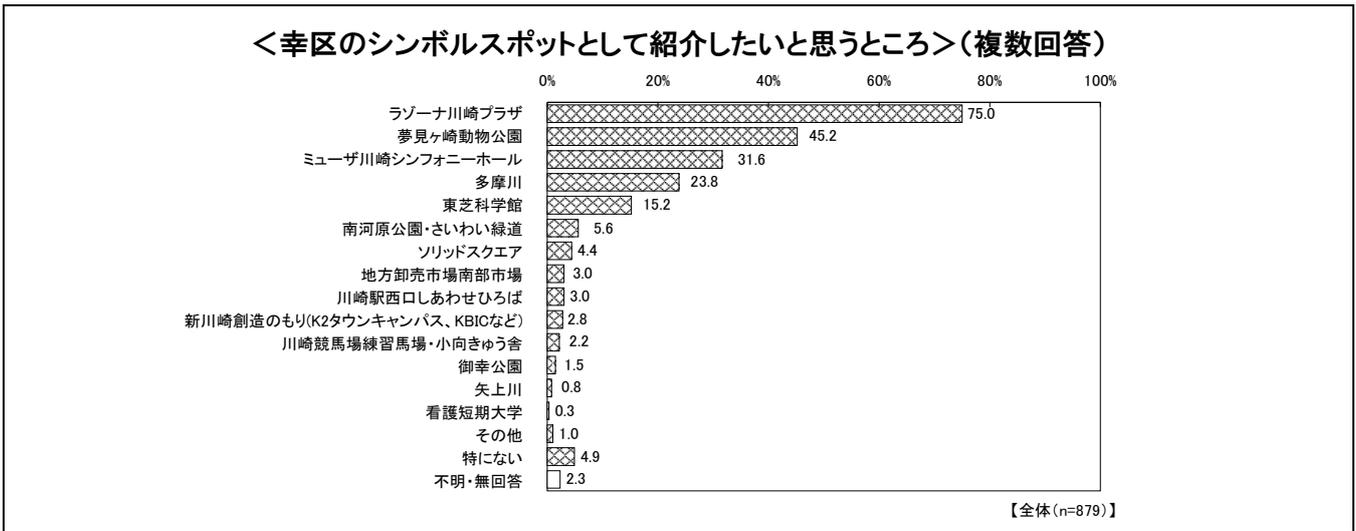
幸区への居留意向については、「幸区内に住み続けたい」が85.3%で最も高くなっている。

幸区への居留意向で「幸区内に住み続けたい」と回答した人に、住み続けたい理由を聞いたところ、「交通の便が良いから」が78.8%で最も高く、次いで「買い物の便が良いから」(59.5%)、「親・親戚・友人などが近くに住んでいるから」(23.1%)と続いている。

幸区への居留意向で「幸区以外の川崎市内に住みたい」または「市外に転居したい」と回答した人に、幸区に住み続けたくない理由を聞いたところ、「自然や公園がないなど環境が悪いから」が36.8%で最も高く、次いで「愛着がないから」(26.4%)、「生まれ故郷ではないから」(20.8%)と続いている。



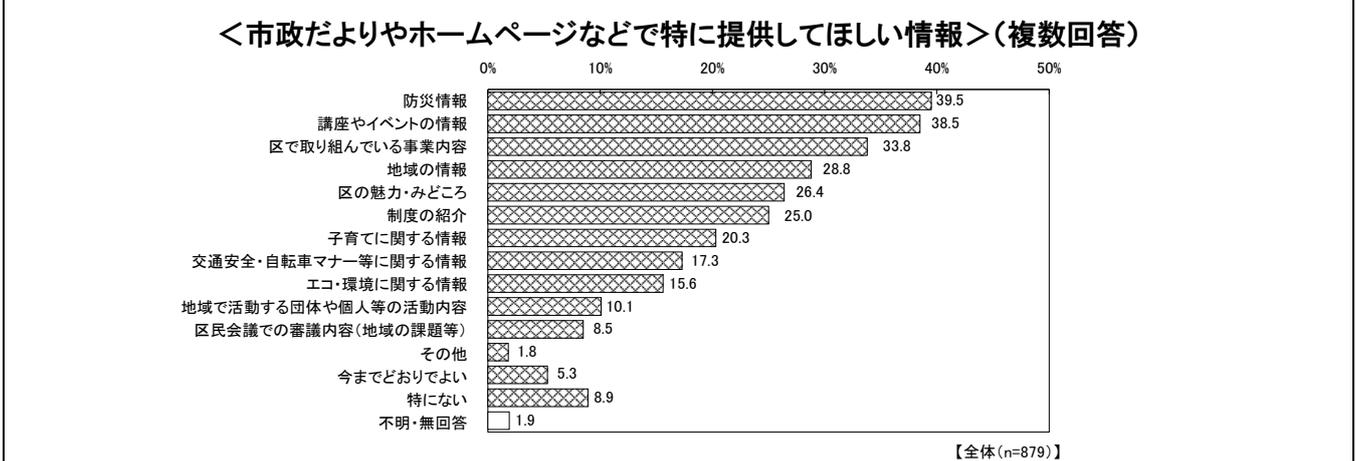
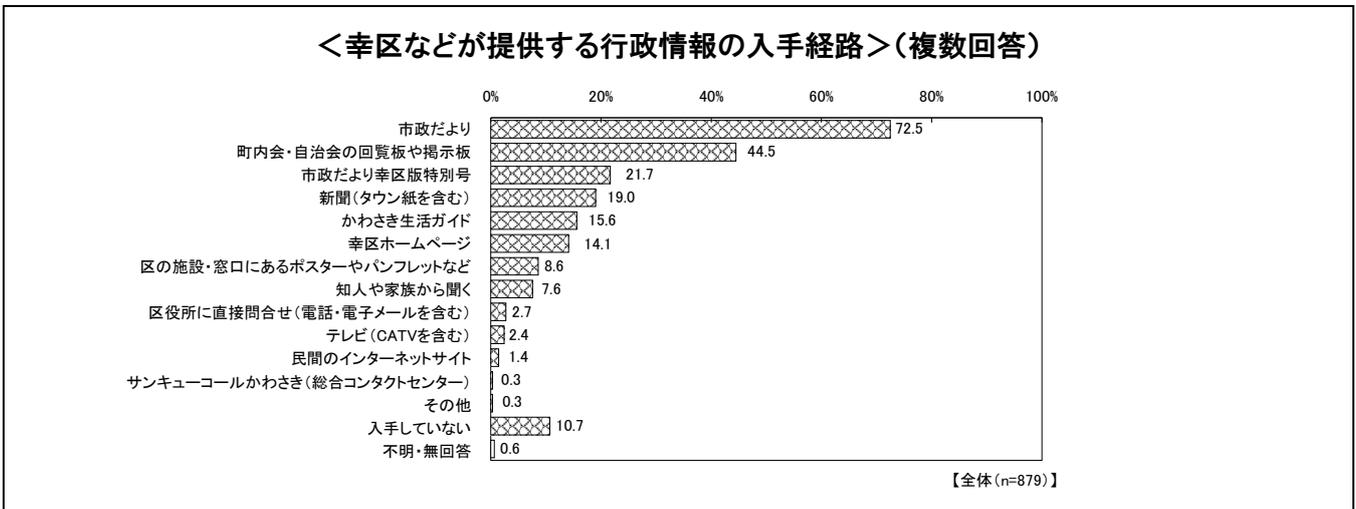
幸区のシンボルスポットとして紹介したいと思うところとしては、「ラゾーナ川崎プラザ」が75.0%で最も高く、次いで「夢見ヶ崎動物公園」(45.2%)、「ミュージア川崎シンフォニーホール」(31.6%)と続いている。



2. 行政の情報について

幸区などが提供する行政情報の入手経路としては、「市政だより」が72.5%で最も高く、次いで「町内会・自治会の回覧板や掲示板」(44.5%)、「市政だより幸区版特別号」(21.7%)と続いている。

市政だよりやホームページなどで特に提供してほしい情報としては、「防災情報」が39.5%で最も高く、次いで「講座やイベントの情報」(38.5%)、「区で取り組んでいる事業内容」(33.8%)と続いている。



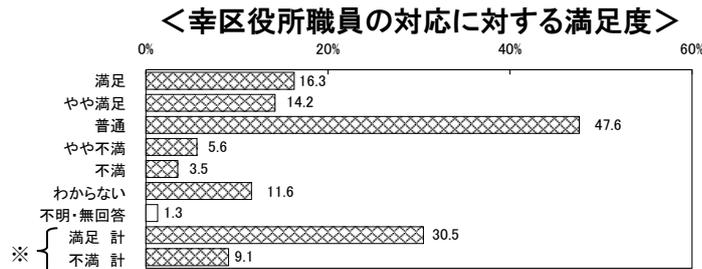
3. 区政への評価と要望について

幸区役所（日吉出張所・道路公園センター・市民館・保育園を含む）職員の対応に対する満足度は、「普通」が47.6%で最も高く、続く「満足」（16.3%）と「やや満足」（14.2%）を合わせた「満足計」は30.5%となっている。

幸区役所・日吉出張所・道路公園センター・市民館の窓口対応に期待するものとしては、「わかりやすく丁寧な説明」が55.3%で最も高く、次いで「迅速な手続・事務処理」（51.8%）、「優しく親切な対応」（33.7%）と続いている。

幸区役所の仕事に対する評価としては、「駅前・道路・歩道の整備」が29.8%で最も高く、次いで「放置自転車や自転車マナー対策」（24.8%）、「公園・緑地・水辺の整備」（23.7%）と続いている。

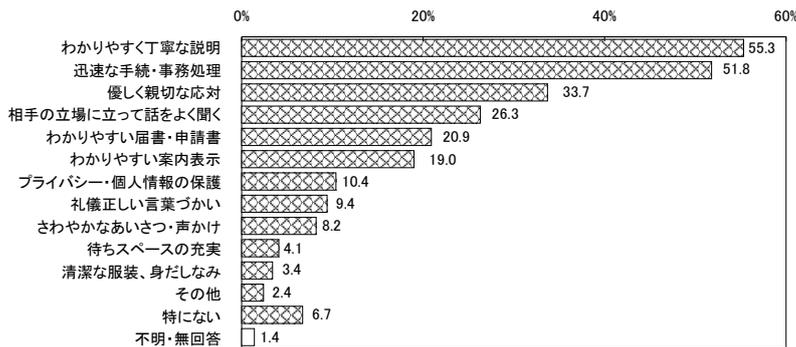
幸区役所の仕事に対する要望としては、「地震や風水害への対策」が45.7%で最も高く、次いで「放置自転車や自転車マナー対策」（38.7%）、「街頭犯罪の防止」（36.6%）と続いている。



【全体(n=879)】

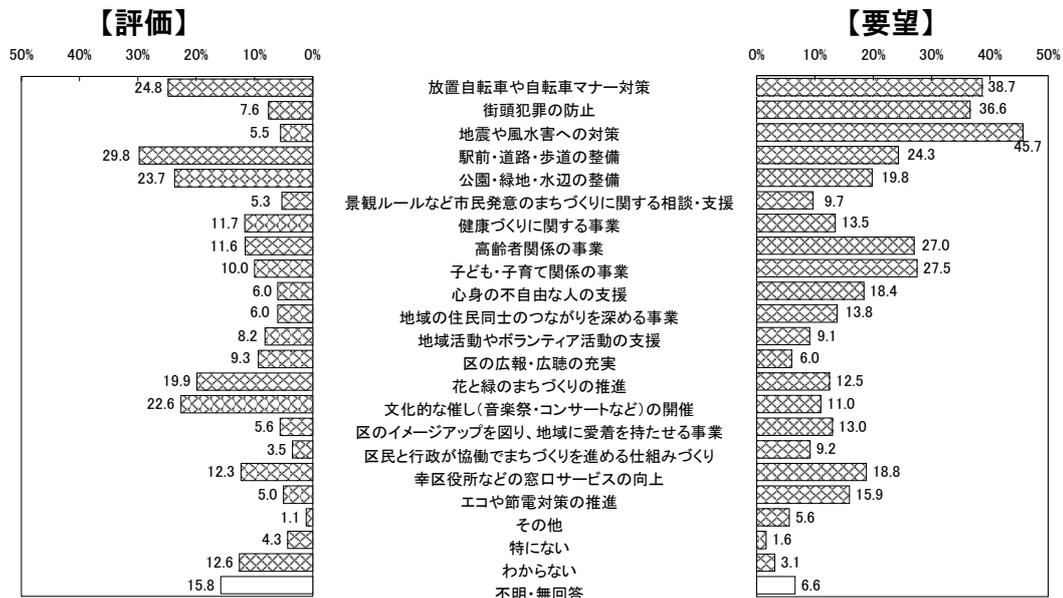
※「満足計」：「満足」+「やや満足」、「不満計」：「やや不満」+「不満」

＜幸区役所・日吉出張所・道路公園センター・市民館の窓口対応に期待するもの＞（複数回答）



【全体(n=879)】

＜幸区役所の仕事に対する評価と要望＞（複数回答）

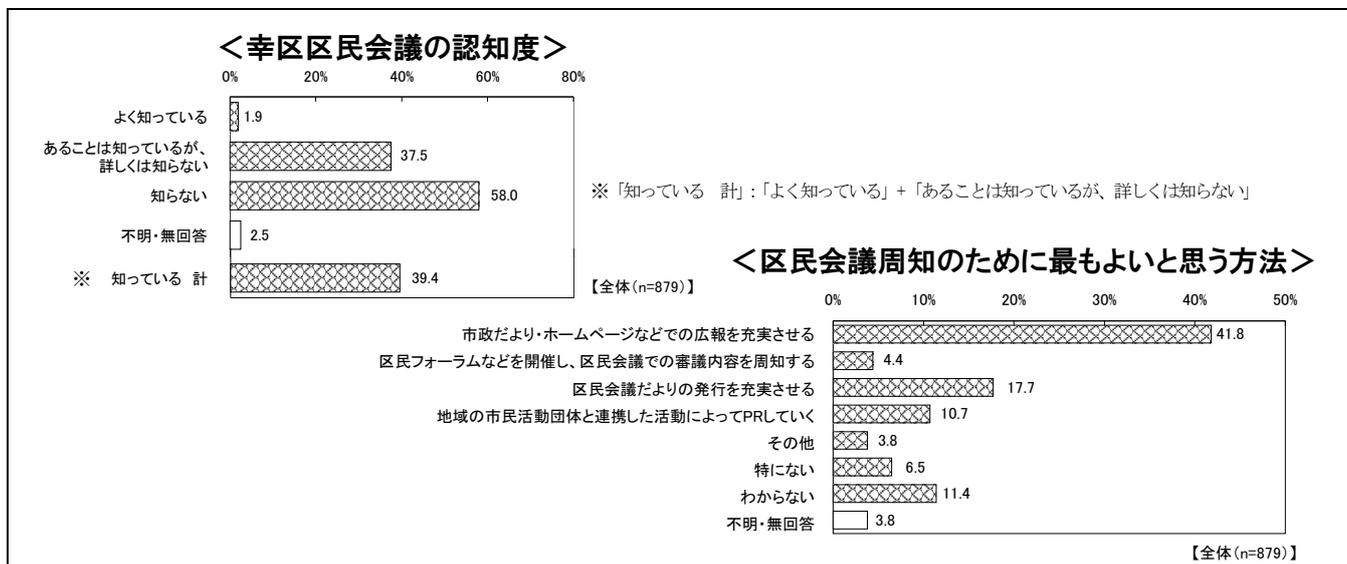


【全体(n=879)】

4. 幸区区民会議について

幸区区民会議の認知度は、「よく知っている」と「あることは知っているが、詳しくは知らない」を合わせた「知っている」が39.4%と4割近くにのぼり、「知らない」が58.0%となっている。

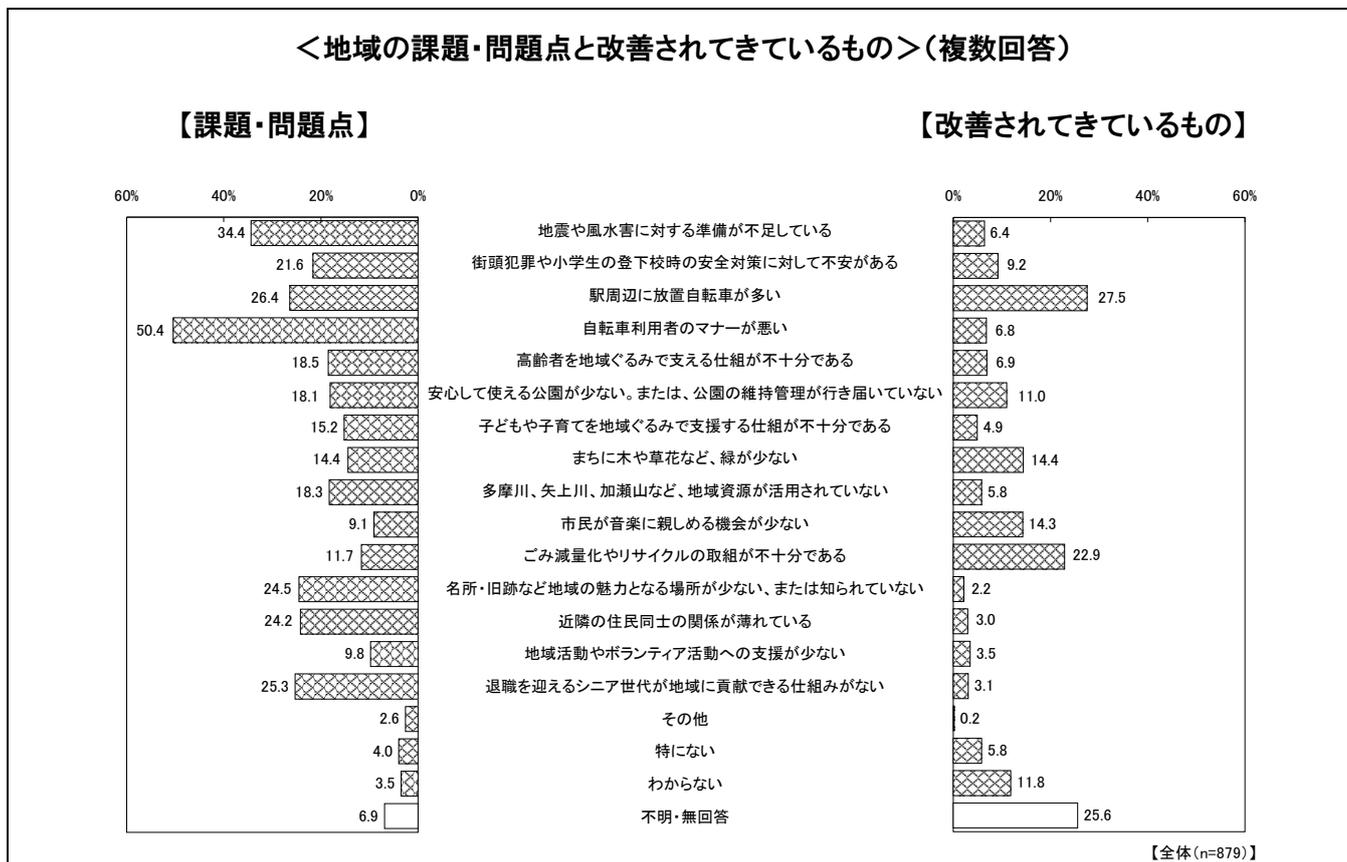
区民会議周知のために最もよいと思う方法としては、「市政だより・ホームページなどでの広報を充実させる」が41.8%で最も高く、次いで「区民会議だよりの発行を充実させる」が17.7%で続いている。



5. 地域活動や課題について

地域の課題・問題点としては、「自転車利用者のマナーが悪い」が50.4%で最も高く、次いで「地震や風水害に対する準備が不足している」(34.4%)、「駅周辺に放置自転車が多い」(26.4%)と続いている。

地域の課題・問題点で改善されてきているものとしては、「駅周辺に放置自転車が多い」が27.5%で最も高く、次いで「ごみ減量化やリサイクルの取組が不十分である」(22.9%)、「まちに木や草花など、緑が少ない」(14.4%)と続いている。



6. 町内会・自治会について

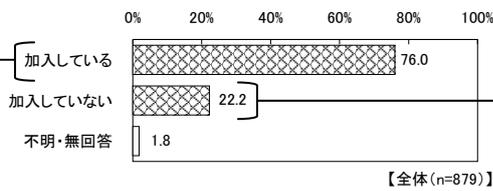
町内会・自治会への加入状況は、「加入している」が76.0%で7割台半ばとなっており、「加入していない」は22.2%となっている。

町内会・自治会に「加入していない」人に、加入していない主な理由を聞いたところ、「加入するきっかけがない」が33.8%で最も高く、次いで「加入しなくても日常生活に支障がない」(33.3%)、「仕事や子育て、介護等で忙しく時間がない」(19.0%)と続いている。

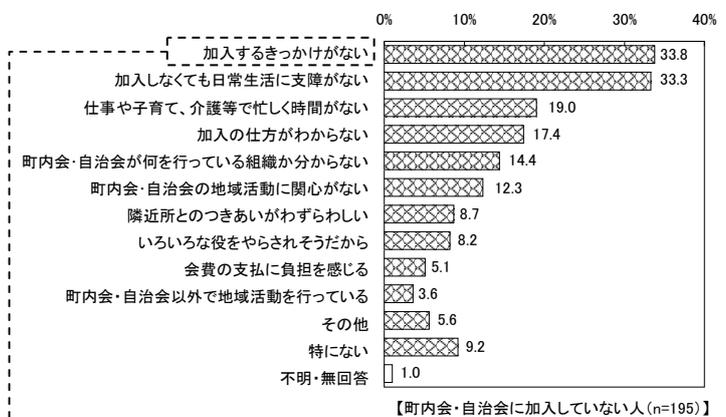
町内会・自治会に「加入するきっかけがない」人に、どのようなきっかけがあれば加入したいと思うか聞いたところ、「防災や子ども関係など加入が必要だと思ったとき」が42.4%で最も高く、次いで「マンション全体で加入したとき」(37.9%)、「近所の人や友人などに勧誘されたとき」(22.7%)と続いている。

町内会・自治会に「加入している」人に、町内会・自治会活動に期待することを聞いたところ、「地域の人々が、気軽に参加しやすい組織・活動にしてほしい」が45.7%で最も高く、次いで「町内会・自治会の活動をPRし、活動内容など様々な情報をもっと公開してほしい」が32.0%で続いている。一方、「今のままでよい」は20.8%となっている。

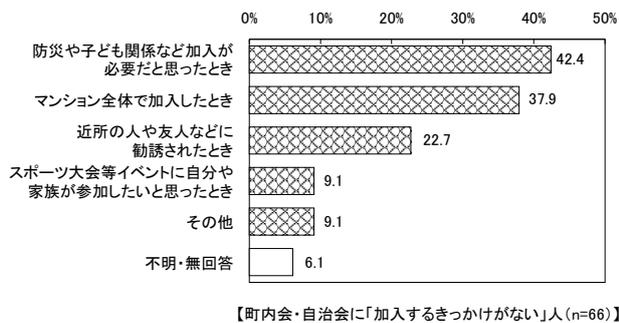
<町内会・自治会への加入状況>



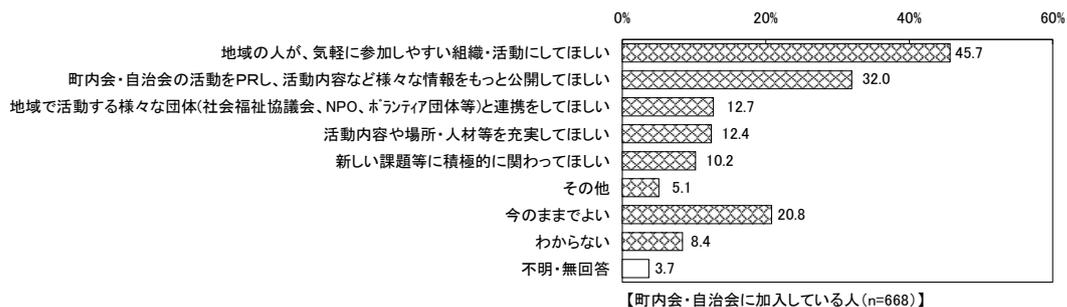
<加入していない主な理由>(複数回答)



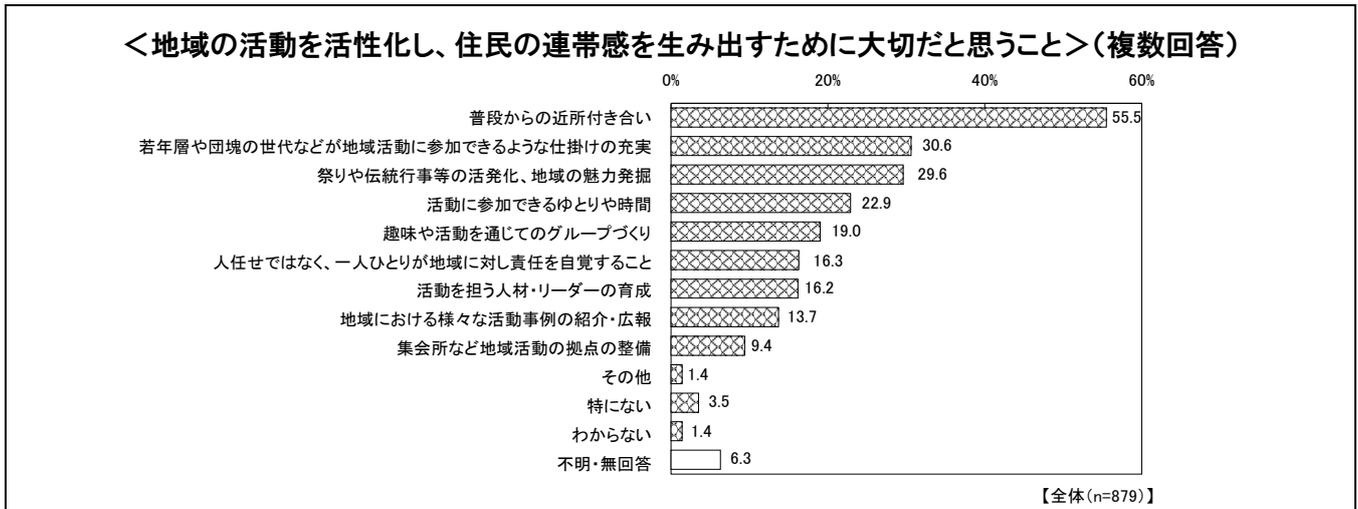
<加入したいと思うきっかけ>(複数回答)



<町内会・自治会活動に期待すること>(複数回答)



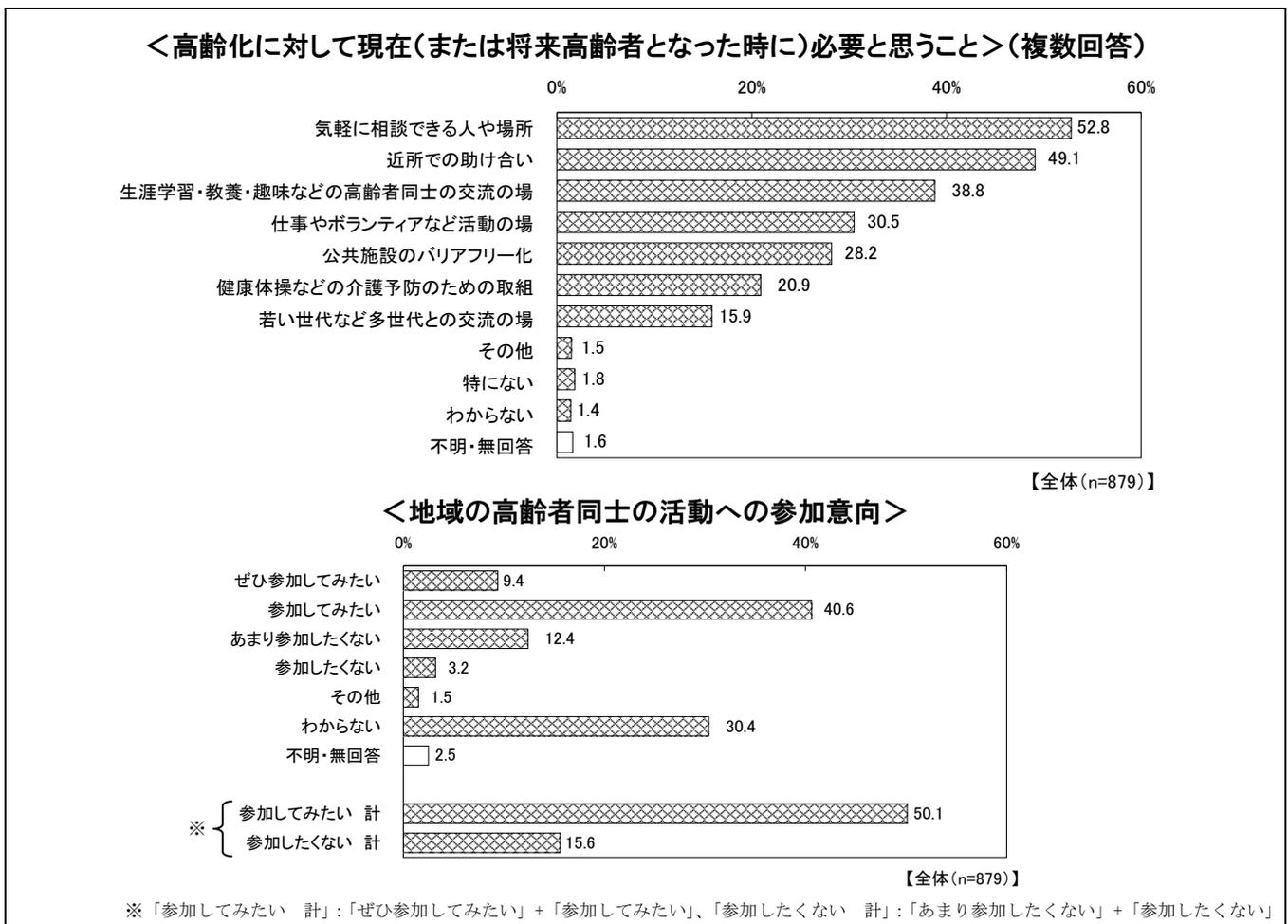
地域の活動を活性化し、住民の連帯感を生み出すために大切だと思うこととしては、「普段からの近所付き合い」が55.5%で最も高く、次いで「若年層や団塊の世代などが地域活動に参加できるような仕掛けの充実」(30.6%)、「祭りや伝統行事等の活発化、地域の魅力発掘」(29.6%)、「活動に参加できるゆとりや時間」(22.9%)と続いている。



7. 高齢者支援について

高齢化に対して現在(または将来高齢者となった時に)必要と思うこととしては、「気軽に相談できる人や場所」が52.8%で最も高く、次いで「近所での助け合い」(49.1%)、「生涯学習・教養・趣味などの高齢者同士の交流の場」(38.8%)と続いている。

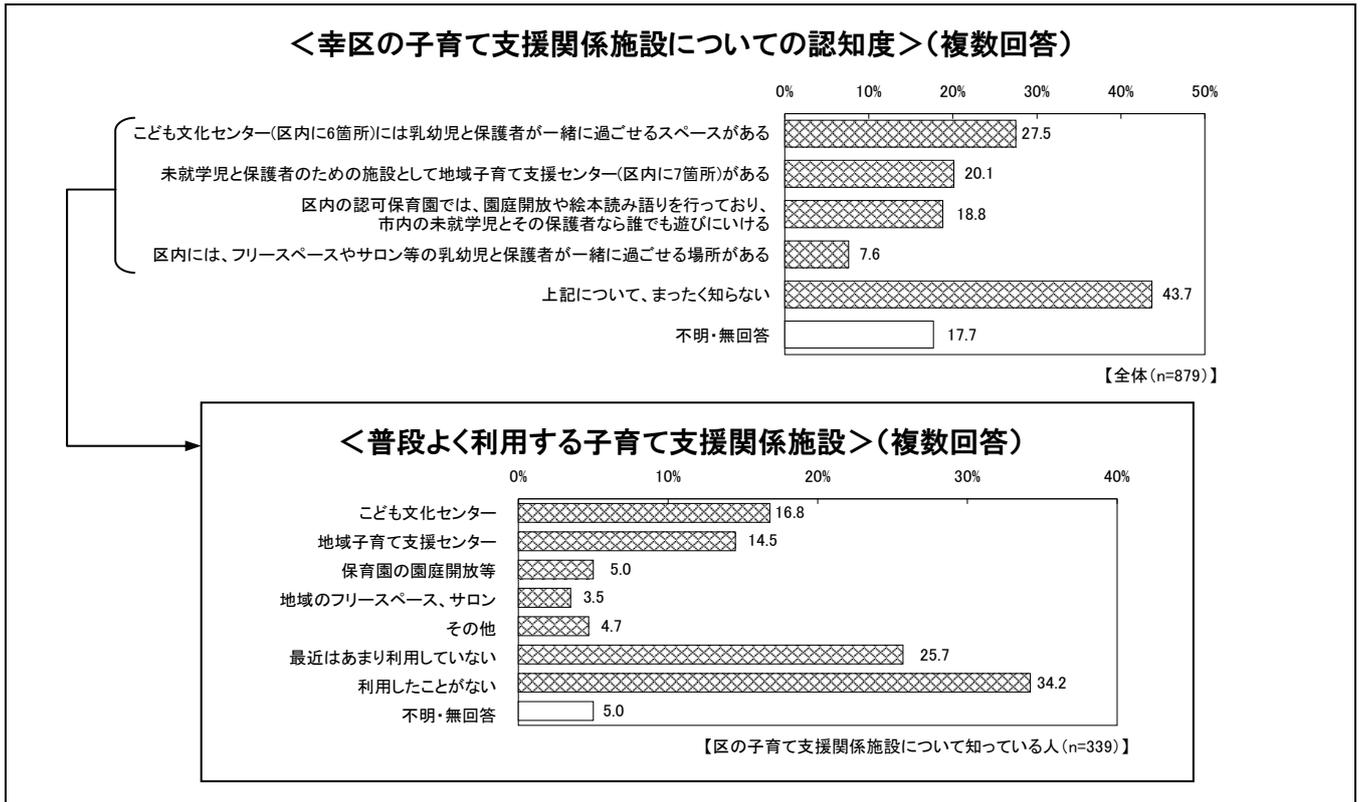
地域の高齢者同士の活動への参加意向は、「参加してみたい」が40.6%で最も高く、これに「ぜひ参加してみたい」(9.4%)を合わせた『参加してみたい』は50.1%で半数となっている。



8. 幸区の子育て支援について

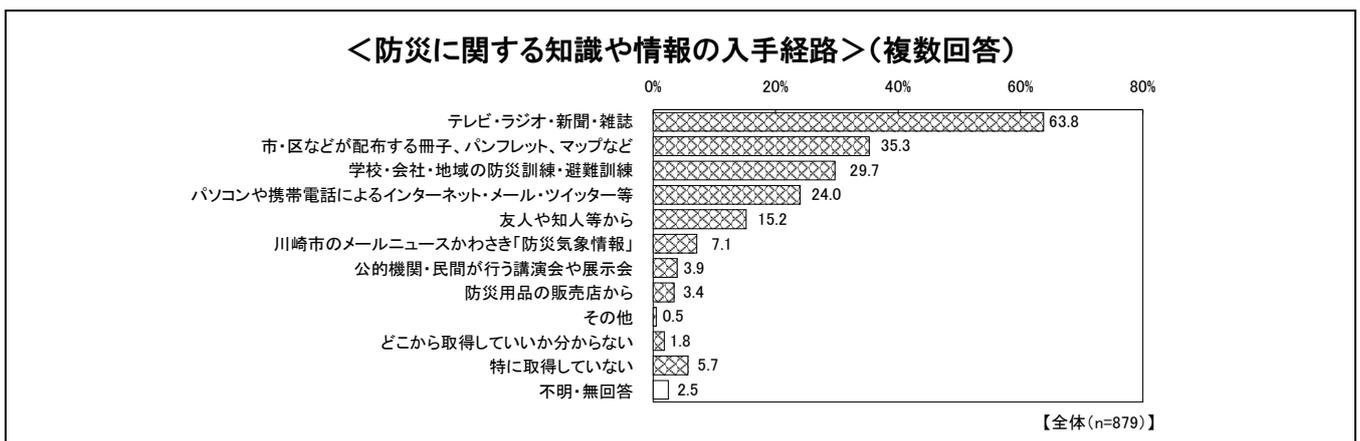
幸区の子育て支援関係施設について知っているものとしては、「こども文化センター（区内に6箇所）には乳幼児と保護者が一緒に過ごせるスペースがある」が27.5%で最も高く、次いで「未就学児と保護者のための施設として地域子育て支援センター（区内に7箇所）がある」（20.1%）、「区内の認可保育園では、園庭開放や絵本読み語りを行っており、市内の未就学児とその保護者なら誰でも遊びにいける」（18.8%）と続いている。一方、「上記について、まったく知らない」は43.7%となっている。

幸区の子育て支援関係施設について1つでも知っている人に、普段よく利用する子育て支援関係施設を聞いたところ、「利用したことがない」が34.2%で最も高く、次いで「最近あまり利用していない」が25.7%となっている。普段利用している施設のなかでは、「こども文化センター」が16.8%で最も高く、次いで「地域子育て支援センター」（14.5%）、「保育園の園庭開放等」（5.0%）と続いている。

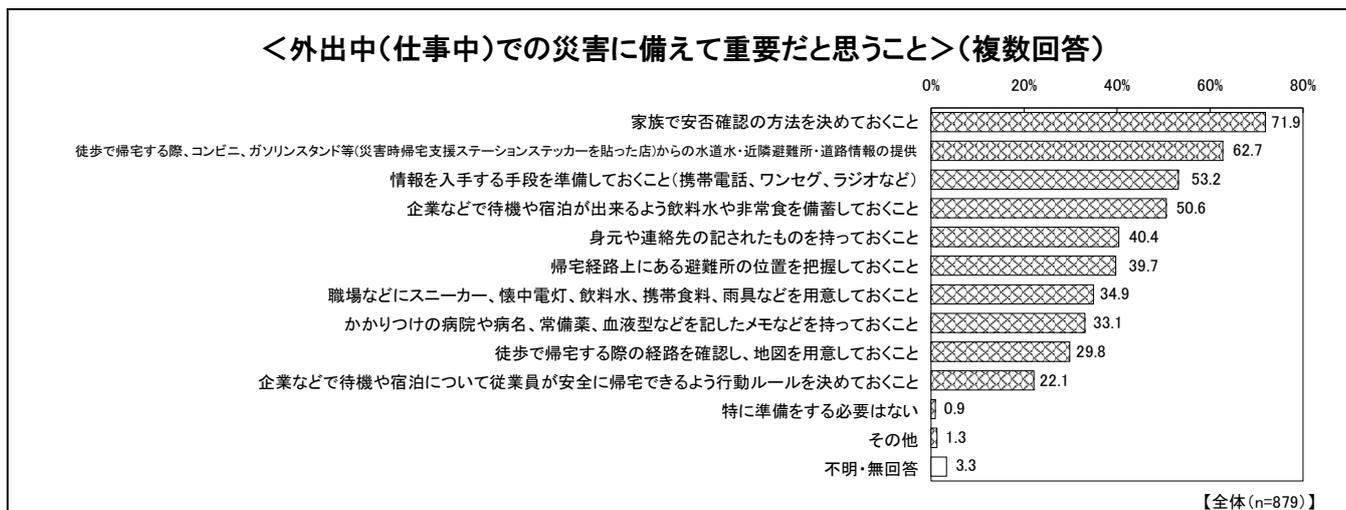


9. 防災について

防災に関する知識や情報の入手経路としては、「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」が63.8%で最も高く、次いで「市・区などが配布する冊子、パンフレット、マップなど」（35.3%）、「学校・会社・地域の防災訓練・避難訓練」（29.7%）と続いている。

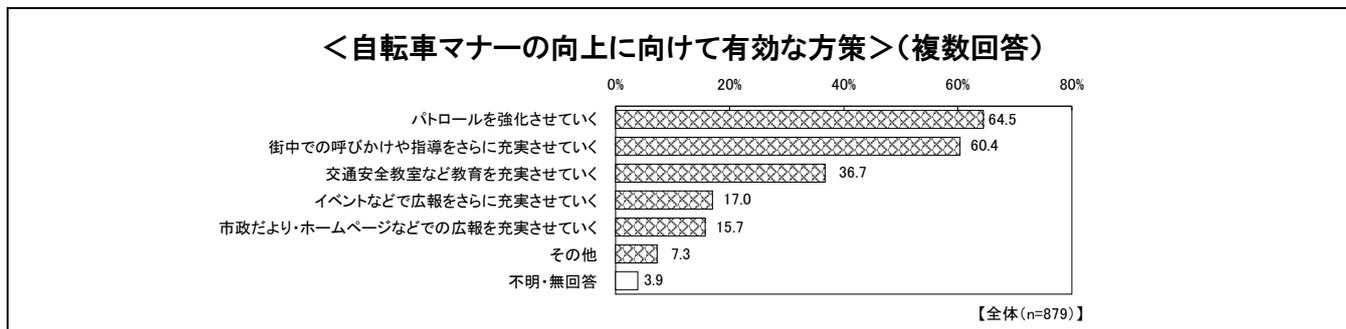


外出中(工作中)での災害に備えて重要だと思うこととしては、「家族で安否確認の方法を決めておくこと」が71.9%で最も高く、次いで「徒歩で帰宅する際、コンビニ、ガソリンスタンド等(災害時帰宅支援ステーションステッカーを貼った店)からの水道水・近隣避難所・道路情報の提供」(62.7%)、「情報を入手する手段を準備しておくこと(携帯電話、ワンセグ、ラジオなど)」(53.2%)と続いている。



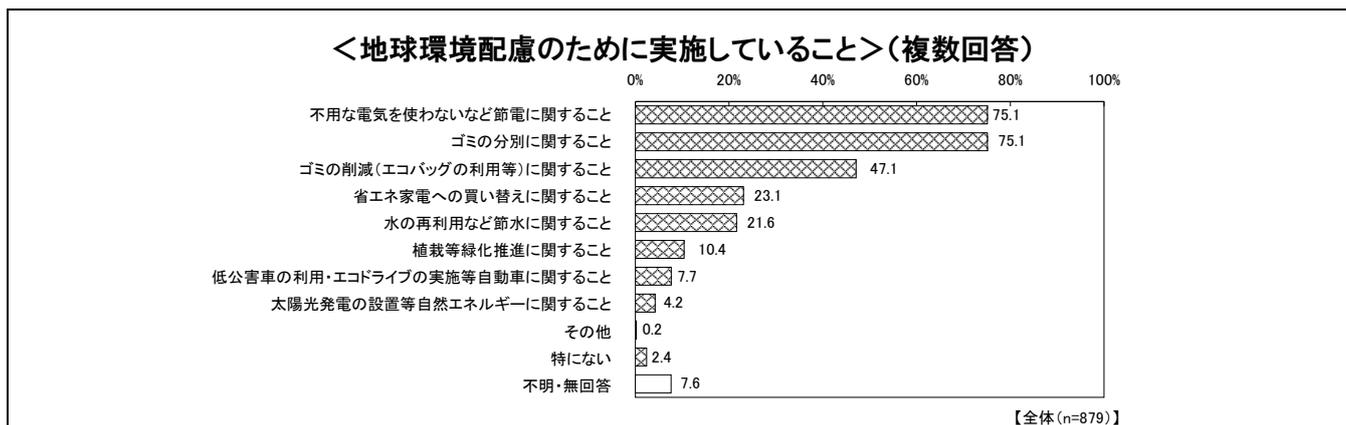
10. 自転車マナーについて

自転車マナーの向上に向けて有効な方策としては、「パトロールを強化させていく」が64.5%で最も高く、次いで「街中での呼びかけや指導をさらに充実させていく」(60.4%)、「交通安全教室など教育を充実させていく」(36.7%)と続いている。



11. エコ・節電・ゴミの分別について

地球環境配慮のために実施していることとしては、「不用な電気を使わないなど節電に関すること」と「ゴミの分別に関すること」がいずれも75.1%で最上位に並び、次いで「ゴミの削減(エコバッグの利用等)に関すること」(47.1%)、「省エネ家電への買い替えに関すること」(23.1%)と続いている。

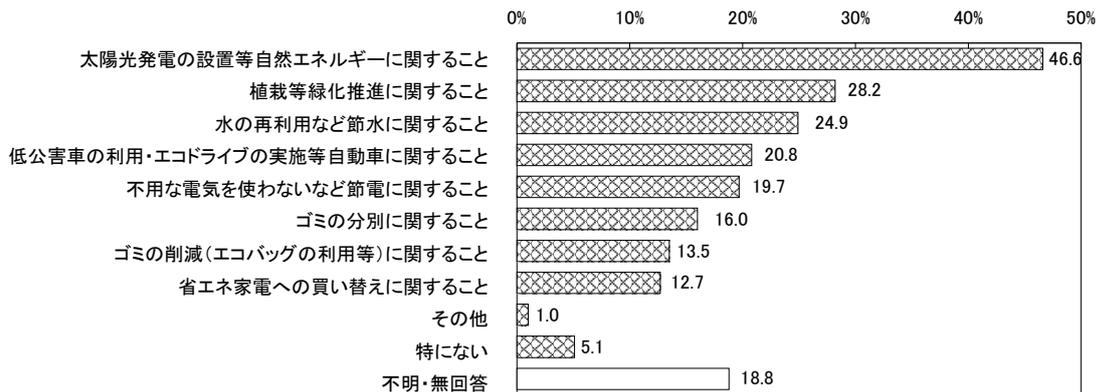


地球環境配慮のために、今後、特に力を入れてほしいものとしては、「太陽光発電の設置等自然エネルギーに関すること」が46.6%で最も高く、次いで「植栽等緑化推進に関すること」(28.2%)、「水の再利用など節水に関すること」(24.9%)と続いている。

「さいわい・はじめようエコ事業」の取り組みで、実践している(いた)ものとしては、「エコバックを利用して買い物をする」が58.2%で最も高く、次いで「ゴミを増やさない行動を実践する(水筒やはしを持ち歩くなど)」(35.8%)、「お風呂の残り湯や雨水などを利用して打ち水を行う」(22.5%)と続いている。

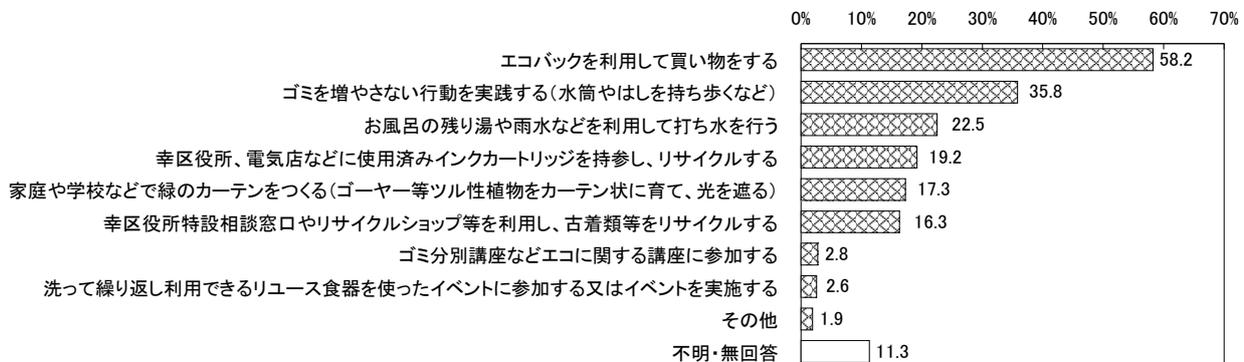
ゴミの分別について知っていることとしては、「ペットボトルのキャップとラベルは、ペットボトルから外してプラスチック製容器包装に分別する」が84.2%で最も高く、次いで「新聞、雑誌などはミックスペーパーではなく資源集団回収に出す」(82.6%)、「レシート、パンフレットなどは普通ゴミではなくミックスペーパーに分別する」(56.3%)と続いている。

＜地球環境配慮のために、今後、特に力を入れてほしいもの＞(複数回答)



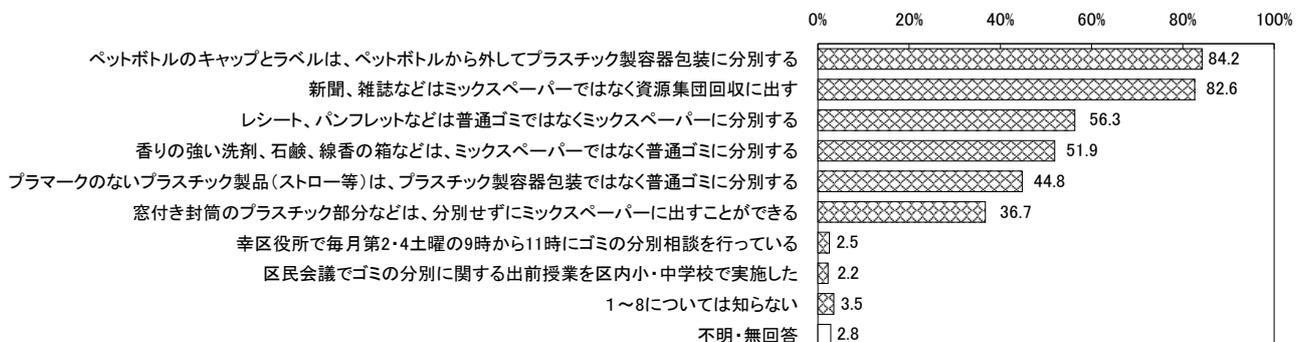
【全体(n=879)】

＜「さいわい・はじめようエコ事業」の取り組みで、実施している(いた)もの＞(複数回答)



【全体(n=879)】

＜ゴミの分別について知っていること＞(複数回答)



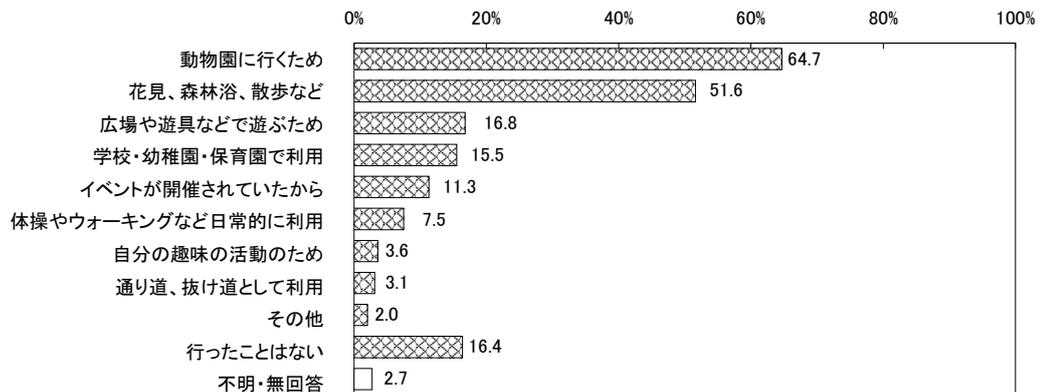
【全体(n=879)】

12. 夢見ヶ崎公園について

夢見ヶ崎公園の利用目的としては、「動物園に行くため」が 64.7%で最も高く、次いで「花見、森林浴、散歩など」(51.6%)、「広場や遊具などで遊ぶため」(16.8%)と続いている。

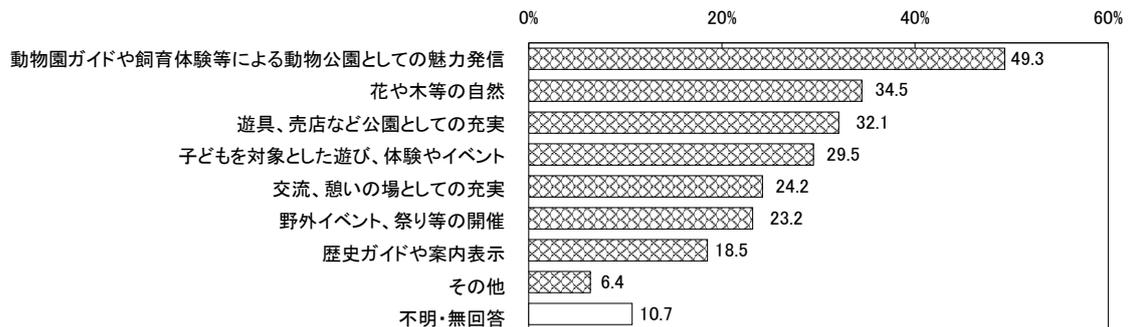
夢見ヶ崎公園の魅力を向上し広めるために充実させていくとよいと思うこととしては、「動物園ガイドや飼育体験等による動物公園としての魅力発信」が 49.3%で最も高く、次いで「花や木等の自然」(34.5%)、「遊具、売店など公園としての充実」(32.1%)と続いている。

＜夢見ヶ崎公園の利用目的＞(複数回答)



【全体(n=879)】

＜夢見ヶ崎公園の魅力を向上し広めるために充実させていくとよいと思うこと＞(複数回答)



【全体(n=879)】

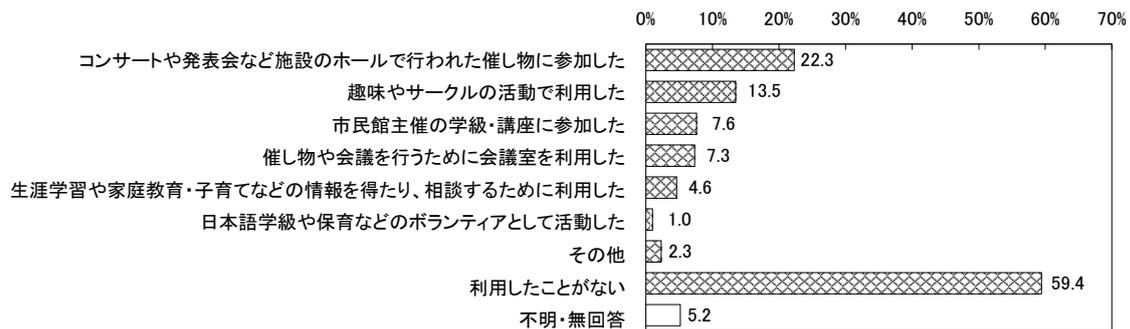
13. 生涯学習について

幸市民館・日吉分館の利用経験としては、「コンサートや発表会など施設のホールで行われた催し物に参加した」が22.3%で最も高く、次いで「趣味やサークルの活動で利用した」(13.5%)と続いている。

一方、「利用したことがない」は59.4%となっている。

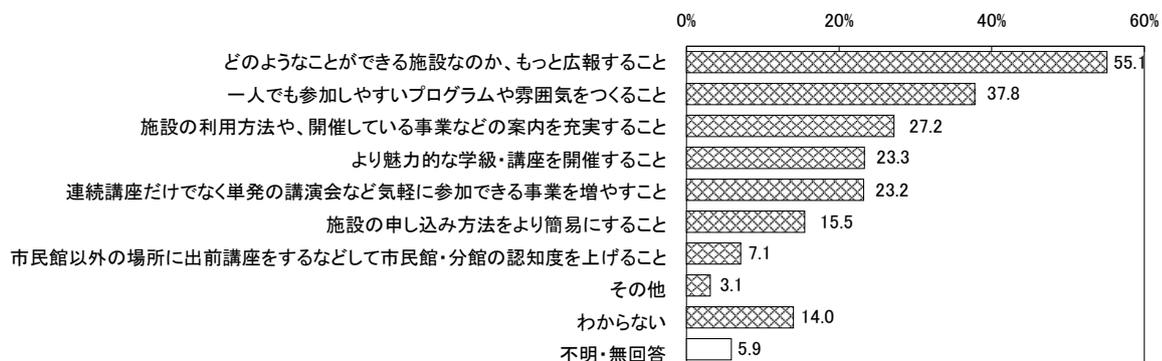
幸市民館・日吉分館をもっと利用してもらうために必要な工夫としては、「どのようなことができる施設なのか、もっと広報すること」が55.1%で最も高く、次いで「一人でも参加しやすいプログラムや雰囲気をつくること」(37.8%)、「施設の利用方法や、開催している事業などの案内を充実すること」(27.2%)と続いている。

＜幸市民会館・日吉分館の利用経験の有無＞（複数回答）



【全体(n=879)】

＜幸市民会館・日吉分館をもっと利用してもらうために必要な工夫＞（複数回答）



【全体(n=879)】

幸区区民アンケート調査 <概要版>

平成24年9月

発行 幸区役所 まちづくり推進部企画課

〒212-8570 川崎市幸区戸手本町1丁目11番地1

TEL 044-556-6612(直通)

FAX 044-555-3130

メールアドレス 63kikaku@city.kawasaki.jp